

# あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース



専念寺のお地藏さま (撮影 阿部会員)

令和3年 10月号 Vol. 210

(2021年)

発行：令和3年 10月20日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊

## 《夏季観光客入込み調査》

行事区分：行事支援

日 時：9月25日(土) 9:00~16:00

場 所：市内拠点4箇所

参 加 者：各箇所 会員2名(計8名)

今回の調査も、前回と同じく新型コロナの流行が収まらない中で行われました。この為、調査も三川合流地点を除く市内4箇所で実施されました。

また、今回の調査では入込み調査の方法に若干変更があり、それに従って調査を行いました。変更内容については、本記事の末尾に掲載した「入込み調査の調査方法変更について」をご覧ください。

## 広沢寺温泉(七沢観光協会駐車場)

明け方からの冷たい雨が降り続く中での調査スタートとなりましたが、開始前からすでに駐車場には数台の車と入念に登山前の準備をされる方がいらっしや、まだ小雨の残る中2~3人のグループで次々と登山やロッククライミングのトレーニングへと向かわれていました。

まもなくして雨が上がると、今度はハイキングやマス釣り場へ向かわれるご家族連れやグループが多く来訪され、どんよりしたお天気に負けにくいお子さんたちの元気な声、そして楽しそうな笑顔が溢れていました。

登山やハイキングの方、そしてマス釣り場で、釣りやお食事を楽しまれる方、皆さんそれぞれに自然の中でのひとときを満喫されているご様子が伝わってきました。

広沢寺は登山の入り口にあたることから、ハイカーの皆さんへお声をお掛けし、ルートを伺い、必要なアドバイスをお伝えすることや、登山ルートやそのルートの現状、また次回登るための情報等、相談や質問をお受けすることが多くあります。

そのため山や地域に詳しく、知識経験が豊富で登山に慣れたかたが担当される方が、来訪される方も安心されるのではないかと思います。



また今回、ご一緒した会員のかたが多くご用意して下さった『厚木大山・宮ヶ瀬ハイカーズガイド』はとても人気で、みなさん地図を見ながら次回の計画のお話の花を咲かせつつ、各々お持ちかえりになられていました。

(毛利 記)

### 七沢温泉（盛楽苑駐車場）

今年は、夏の終わりの長雨のためか、あまり季節の移ろいを感じることがなかったのですが、調査場所近くの田圃の稲刈り跡や真っ赤な彼岸花に、やはり秋を感じ、そんな目で見ると、盛楽苑の桜の葉も少し色づいているようにも思われました。



さて、肝心の入込み調査ですが、緊急事態宣言下なので、人出はもっと少ないのかと思っておりましたが、それなりに人出はあるようで、旅館の駐車場にも多くの車がありました。

この調査場所は、車の通りは多いのですが人通りはあまりなく、いつもアンケートに苦労するのですが、今回は10人ほどが引き受けて下さり、アンケートを取りながら色々な話が聞けました。

中には、観音寺を目指して東京から来られたと言う若いカップルがおり、不思議に思い尋ねたところ、彼女が鳥好きで、観音寺のインコに会い来たそうです。そう言えば、観音寺にはインコ柄の「お守り」もあるそうですね、愛鳥家の間では結構有名のようです。

埼玉からハイキングで訪れたお客様は、30年ほど前の古い地図を頼りに来られたそうで、バス停の名前も変わっていて大変苦労しているとのこと、地図のあるパンフレットを差し上げたところとても喜んでおられました。

また、朝方の雨で、ヒルも元気を取り戻したのでしょうか？

赤く染まった靴下を指さしながら、亀石に行こうと小道に入った途端にヒルにかまれてしまったと言う女性もおりました。

5~6人で来られたハイカーにアンケートをお願いしたところ、「セラピーやハイキングはまだ始めないの？」と逆に質問されてしまいました。マスク姿のため、声をかけられるまで全く気が付きませんでした。声の主は、観ボラや森林セラピーの常連さんでした。

ボランティアガイドが出来ないことは、私達にとっても本当に残念、七沢の山の景色を見ているとコロナ前の活動を思い出し、コロナが早く収まることをより強く願う一日でした。

(根岸 記)

### 七沢森林公園（出会いの広場）

コロナ禍、緊急事態宣言下での入込み調査でした。朝方小雨が降っていて心配な天気でしたが、調査開始時には雨も上がり曇り空でしたがますますの天気でした。唯、来園者数は折からの外出自粛等の悪条件も重なり、普段の休祭日よりも少なかったように思いました。

アンケート調査でお声をかけたお客様は横浜、平塚、伊勢原、大和、厚木市内からの来訪者でした。中には家族連れで、蝶、トンボ、バッタ、ザリガニ等を追いかけて、楽しそうにはしゃいでいる子供達がいきました。





生まれて以来ずっと七沢に住んでいるお年寄りがいらっしやいました。実家は農業で、七沢森林公園の大山広場に畑があってそこまで細い山道を毎日歩いて通ったそうです。今の農家は猿害で悩まされていますが、その当時は辺り一面自然の山林で猿の餌も豊富にあり、猿は人家には近寄ら無かったそうです。開発が進んだ結果の猿害のようですね。

久しぶりに多くの人と挨拶したり、言葉を交わしたり、楽しい一日でした。人との交流は必要ですね、一日も速く平常の生活に戻る事を願う今日この頃です。

(村上 記)

### 飯山温泉（中飯山自治会館）

今年 4 月に観光ボランティアガイドに登録しましたが、緊急事態宣言中のため、9月25日土曜日の飯山温泉入口での入込み調査が初めての参加になりました。

朝、宮の里の自宅から徒歩で現地に向かい、中飯山自治会館のデッキに机とイスを準備して、支給されたベスト、帽子を着用してご一緒した会員の方と観光客を待ちました。

私は毎年、年末年始、桜まつりに飯山観音に参拝し、他の時期にはほとんど訪れたことが無いので、雨の降りそうな9月末の土曜日に観光客などほとんど来ないと思っていました。しかし、予想外に人出が多く驚きました。



昼近くに横浜、小田原、東京からバスを使ってハイキングに来た人が何組もありました。東京の60代の会社の先輩に案内されて来た20代から40代仲間8人は白山から七沢に抜けると言っていました。私もこのコースを朝一番から歩きましたが決して楽なコースではなかったので、この時間から登るのかと、ちょっと心配になりました。

乗用車で来て上の駐車場から白山のコースを歩く人もいました。

東林間から昼寝が終わって歩きたくなくなったので電車とバスで来て、3時ごろから登り始めた人もいました。

今回の調査で話した人たちはハイキングを生活の一部にしているようです。このコースを選んだのもネット、電車の広告など、身近なものを情報元としているのだなと感じました。

今回準備したパンフレットは大変好評で、駅、バス乗り場で事前に手にしてもらえばよかったかも知れません。

当日の結果は歩行者48名、自動車277台（乗員399名）バス2台、バイク26台でした。

(小林 記)

## \* 入込み調査の調査方法変更について

今回の入込み調査に当たりましては、調査対象のカウント方法を具体的に図で示した資料を事前に担当者にネット配信させて頂き、それに従って調査して頂くようお願いをいたしました。

内容的には、従来から皆様が行っている手順と殆ど変わっておりませんが、一部の調査場所において、文書で記載された手順書の解釈の違い等により、担当される方によって微妙な違いが発生していることが判明いたしましたので、厚木市観光協会様の意向をお伺いし、部分的な補正とカウント方法を画図で表現させて頂きました。

詳細につきましては、10月の定例会においてご説明させて頂くつもりでおりますが、都合により、定例会にご出席頂けない方は、サークルスクエアの「フォルダ」⇒「観光客入込み調査実施手引き」⇒「入込み調査 カウント具体例」をご覧頂き、今後の入込み調査時にご活用下さいますようお願い申し上げます。

(業務担当 根岸)



## 会員投稿

### 《道標を知る》

三平與志子

コロナ禍で自粛中でしたが3蜜にならず自然の中の道標を見て歩くくらいなら、良いと思い荻野地区「道標Nō 48-58」を散策しました。



下荻野地区宿原殿様道

殿様道は周囲を住宅が建ち並んで居りました。この道は「荻野山中陣屋」に通じ参勤交代の時は陣屋→法界寺→妻田→厚木へと、そして江戸へ向かいました。



源氏河原は明治6年（1873）6月上荻野の源氏河原に第134番目の小学静学館第2支校が開かれた場所です。



上荻野地区源氏河原



上荻野地区松石寺入り口

近くには天保12年（1841）銘の新四国八十八箇所の標柱があり松石寺に通じています。

打越峠の道標を右に見て雑木林を降り途中小名海底（おそこ）の鎮守様「日月神社」にお参りして愛川町の海底部落へ到着しました。

海底部落は幕末より最近まで手漉きの和紙が作られており鳶尾山連峰の北側に位置し部落下には中津川が流れています。日陰地区なので水田耕作は出来ません。山壁に楮（こうぞ）を植え和紙を作り「海底和紙」となっていました。



上荻野打越地区



最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
9月25日	市内4箇所 (三川合流を除く)	観光客入込み調査	会員 8名
10月 9日	アミューあつぎ	定例会・勉強会	会員 21名
10月13日	横浜市保土ヶ谷区	浮世絵で巡る東海道保土ヶ谷宿 (かながわガイド協議会訪問ガイド)	会員 1名

令和3年10月・11月 行事予定  
(12月予定の一部を含みます)

	日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
10月	上記(最近の活動)に記載				
11月	7日(日) 9:00~16:00	秋季観光客入込み調査	市内5箇所	観光客動向調査	サークルスクエア
	13日(土) 9:30~12:45	定例会・勉強会	アミューあつぎ	—————	サークルスクエア
	17日(水) 9:30~12:05	かながわガイド協議会 訪問ガイド	綾瀬市	春日局大山詣り コース	サークルスクエア
	25日(木) 10:00~15:00	県西観ボラ合同研修 交流会	南足柄大雄山	研修交流会 大雄山駅 9:30	サークルスクエア (5名)
	28日(土) 10:00~12:30	依頼ガイド (神奈中観光主催)	飯山・森林公園	飯山観音と 森林公園の紅葉	後日連絡
12月	4日(土) 10:00~12:30				後日連絡
	5日(日) 10:00~12:30				後日連絡

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。

提出期限は定例会の1週間前(編集会議と印刷のため)

編 集 後 記

まだまだ油断はできませんが、ようやく新型コロナの感染状況も少し落ち着いてきたようです。いろいろなところでルールを守りながら活動を再開しているお話を聞くようになりました。

これから涼しくなり紅葉の季節が始まります。私たちもご案内できることを楽しみにできそうです。

さて、巻頭の写真は温水にある専念寺入口のお地藏様です。恩曾川で見つけた村人がお寺に運んできたのが、写真左のお地藏さまとお寺の方からお聞きました。お寺の近くで恩曾川にかかる橋を「地藏橋」というのはお地藏さまが見つかった場所に架けられた橋のためということです。

専念寺には、このほかにも地名の温水の由来とされる光温池があります。

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 前澤 宣子